



# 志學館大学生涯学習センター通信

## 講演会 アメリカにみる新しい図書館像

2017年11月19日(日)、鹿児島県立図書館(大研修室)において、2017年度ホーナー日本交流基金のフェローとして来日されていた Ping Situ 氏(米国アリゾナ大学(AUS) アソシエート・ライブラリアン)と、本学の岩下雅子生涯学習センター長が「アメリカにみる新しい図書館像」と題して講演会を行いました(志學館大学生涯学習センター・志學館大学図書館共催)。本講演会はまた、西日本図書館学会鹿児島支部の秋季研修会も兼ねることになり、同支部より後援をいただきました。

本学の近藤諭図書館長の挨拶の後、Situ 氏は、大学図書館がどのような学生支援をおこなっているのかスライドを交えながら具体的に紹介されました。国情の違いがあるとはいえ、大学図書館のダイナミックできめ細やかな取り組みに参加者はいろいろと考えさせられる1時間となりました。

続いて岩下雅子生涯学習センター長は、ホーナー交流基金の概要説明の後に、2016年度の同基金の研修生として視察した、アリゾナ州の公共図書館、大学図書館、学校図書館、視覚障害者向け図書館について豊富なスライドで視察報告を行いました。

会場には図書館学を担当している大学教員をはじめ、学校関係者や学生、図書館に関心を抱く一般の方々など多くの方々が集まり、会場の座席はほぼ満席となりました。講演会後も多くの方々が質問に残り、会は盛会のうちに終了しました。

なお、当日は鹿児島県青年会館事務局長の池水聖子氏が司会を、青年海外協力隊(JICA)等の通訳も手がける小浜須賀子氏が通訳を担当していただきました。また本学の学生サークル「ビブリオテーク」のメンバーは、機器のセッティングや照明、受付等を担当し、スムーズな進行をサポートしてくれました。ご協力いただきました関係各位の皆様方に改めて深く感謝申し上げます。

(岩下雅子)



### ■平成30年度 志學館大学 図書館をきわめる～これであなたも Librarian～



本や読書にまつわる手法や知識を学び、理解を深めていきます。会場 志學館大学 時間 13:00～15:00

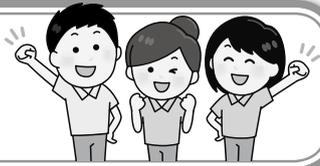
	講座テーマ	講師
第1回 4月28日(土)	ヨーロッパにおける本の歴史 ～本の歴史は迫害の歴史～	志學館大学 特任講師 岩下雅子氏
第2回 5月19日(土)	日本古典に見る本の話 ～和書の愉しみ～	志學館大学 講師 日高愛子氏
第3回 5月26日(土)	社会教育と図書館 ～地域に根差した読書活動～	鹿児島県青年会館 事務局長 池水聖子氏
第4回 6月16日(土)	未来に繋がる図書館 ～多様化する図書館～	志學館大学 特任講師 岩下雅子氏
第5回 6月30日(土)	PTAと学校図書館 ～地域開放/本と室内楽の楽しみ～	加治木高校 PTA 母の会 元会長 中村美千代氏
第6回 7月7日(土)	子どもの心に本を届ける ～椋鳩十からアニメーションまで～	鹿児島国際大学 元教授 種村エイ子氏
第7回 7月21日(土)	読むことは生きること ～吉野源三郎「君たちはどう生きるか」～	鹿児島県立短期大学 元学長 種村完司氏

【定員】30名(先着順)

【申込み方法】電話・FAX・メール から、氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号・受講希望講座 等をお知らせください。

\*上記開講講座の詳細については下記の志學館大学生涯学習センターにお問い合わせください。

# 平成28年度ニューライフカレッジ霧島 隼人学「若者につなぐ地域の活力」



霧島市教育委員会・鹿児島高等専門学校との連携講座「ニューライフカレッジ霧島」は受講者の皆様と学びを重ね、今年度も全10回を好評の裡に終えました。今号では後半の6回分について報告いたします。

## 第6回「YOUはなんごて霧島へ」

バダル・ハミッド氏（横瀬石油／代表）  
ティモテ・ベガン氏（カフェ・パリジャン／オーナーシェフ）

遠く海外から霧島市に移住されたハミッドさん（イランから牧園町へ）、ベガンさん（フランスから国分へ）から、地域で感じておられることをそれぞれお話しいただきました。お二人とも、職業も住む地域も異なりますが、自らの文化を大切にされながらも、地域にしっかり溶け込んでおられる姿が印象的でした。ときに、「日本人は仕事中心で生活を楽しまずに命をすり減らしている」などシビアな批判も投げかけられ、生活や人生への向き合い方や、海も山も畑もある自然や人間関係など田舎暮らしの豊かな可能性が語られました。こうしたお話しから私たちの地域（生活）を新たな視点で見つめることができました。と同時に、霧島市は多様な文化や見方を含み込んだ地域であり、それが地域の活力にもなっていると感じさせられる回となりました。（岩橋恵子）



## 第7回「地域企業の活力～鹿児島高専に恋して～」

講師：相良正典氏（株相良製作所代表取締役）



鹿児島工業高等専門学校の卒業生である相良氏からは溢れる母校愛を強く感じながらお話をお聞きました。受講生のために相良製作所が手掛けている鉄骨加工・鉄骨工事・一般建築工事・製茶機械製作・設置工事等が紹介された27頁にわたるカラー印刷の冊子が配布されました。相良社長の説明を聞きながら県内外で請け負った数々の大規模な仕事内容や、鉄骨で橋を架ける手順に「そうなのか」と思わず唖ったりしました。地元企業の活躍に誇らしい思いで一杯でした。相良社長からは、美味しいお茶を全員にお土産にと頂きました。ありがとうございました。（岩下雅子）

## 第8回「若者力・英語力・地域力」

講師：嵯峨原昭次氏（鹿児島工業高等専門学校教授）  
鹿児島高専英語部員（永田大地氏、堀脇健志氏、有川慎太郎氏、下和田悠生氏、田中佑美氏、田淵友佳子氏、黒石愛華氏）

前半は英語部員が中心。嵯峨原先生の《ハミング8メソッド》という英語発音法の練習と、部員のサポートによる参加者を巻き込んだ「Happy Birthday」の歌唱、部員による全国高専英語プレゼンテーション大会で行ったプレゼンテーションのデモンストレーションなど盛りだくさん。後半は嵯峨原先生の講話「『異文化コミュニケーション』—誰でも国際人になれる—」。自らの経験を交えてユーモラスに、しかし意義深い内容をお話しくださいました。特に印象深かったのは、部員のプレゼンテーションが、先生の指導によって英語の発音が良いのももちろんのこと、論の組み立てもしっかりとっていたことでした。さあここから議論！というところですが、内容をしっかりと把握できなかった私は、もっと英語を勉強しておけばとありがちの感想を抱いたのでした。（三浦卓）



## 第9回「地域資源を活かす～竹とコーヒー～」

講師：福島恭志氏（MAKIBI COFFEE）



なんと軽やかな話だったことでしょうか。南カリフォルニア大学でジャーナリズムを専攻した埼玉県出身の福島氏が紆余曲折を経て鹿児島で行政書士をしながらコーヒーを出店するまでのお話をお聞きました。山林面積が80%を超える霧島市の放置竹を活用できないかという思いから生まれたコーヒー。まるやかな味にこれならいけると登録文化財の大隅横川駅で芸術的香りのするカフェを始めるまでのお話はワクワク感満載。里山資本主義の話から物を売るだけでなく交流の場が伴わなければと演奏も楽しめる企画等、アイデア溢れるお話を心地よいコーヒーの香りの中で満喫しました。（岩下雅子）

## 第10回「若者につなぐ地域の活力」鹿児島島の若者はいま—青年組織調査から見えてきたこと—

講師：池水聖子氏（鹿児島県青年会館岬舎 事務局長）

かつて一級建築士として博物館の建築を手がけた池水氏が、鹿児島県青年会館岬舎を拠点に青年団活動支援と地域に根差した読書活動から、大学院の修論で取り上げたさつま町中津川地域の伝統芸能継承活動についてお話をお聞きました。まさに年配者から若者へと地域の魅力がどのように伝えられたかという経過は多くの示唆に富む内容でした。後半のワークショップでは若者に何かを伝えたいがどう伝えたらいいのかわからない旨の発言が各グループから相次ぐ一方で、池水氏のお話からヒントが得られ学びが培われたとの声も受講生から多く寄せられました。（岩下雅子）



# 生涯学習なん

今年度から始まった「地域学習アニメーター資格取得プログラム」を優秀な成績で修め、見事「地域学習アニメーター」第1号となった日高雄一さんにお伺いしました。

セ 「地域学習アニメーター資格取得プログラム」を半年間で全て履修されたわけですが、受講されるきっかけは何だったのですか。

日高 鹿児島高専を卒業してからずっと東京、大阪で働き、定年を契機に霧島市隼人に戻ってきました。でも、若いときはあまり地域に関心をもっていなかったし、地域のことをあまり知らなかったの、3、4年前からニューライフカレッジ霧島・隼人学を受講したんですね。それが一つのきっかけですかね。

セ そうそう、企画委員にもなられ、積極的な意見を色々いただきました。

日高 特に最近では明治維新150年ということで、より地域学習に関心を持つようになりました。地域学習アニメーターの科目は、歴史や地域学や実際の楽しい科目もあって、しかも火曜日にまとまってあるので受講してみようと思ったんですね。

セ でも霧島市から通われるのは、大変だったんじゃないですか。

日高 ですから、週に1日は志学館大学で学ぶ日と決めて、授業が終わった後は、鹿児島市内での用事を済ませるように利用していました。

セ なるほど、それは合理的でしたね(笑)。それで、実際に受講されていかがでしたか。

日高 初めて知ることが多くて楽しかったですね。歴史には今の時代と共通する問題が詰まっていると感じましたし、地域学習は身近なことを新しい視点で見ることができる発見もありました。

セ 隼人学の授業は、市民講座の隼人学で学ばれたことと重複して退屈されることはなかったですか。

日高 現地研修もあって、ずっと深く学ぶことができましたね。ただ、大学では若い人との関わりも楽しみにしていたんですが、学生は仲間で固まっていて、あまり関わりをもてなかったのは残念でした。

セ すみません。来年は注意しておきます(笑)。ところで、こうして学ばれたことは、今後何か生かせそうですか。

日高 桜島シオガイドや霧島市シルバー観光ガイドをしているので、そこで大いに生かせそうですね。

セ すばらしいですね。日高さんは、他にも霧島文化フォーラムを立ち上げられ音楽バルを企画されるなど、地域に文化を広げておられます。日高さんの思いや学ばれたことが、地域に広がり定着していくことを期待しています。最後に、これからの夢や抱負などがあれば・・・。

日高 とにかく生き生きと人生を楽しみたいと思っています。そのために、人との出会いや繋がりを大切にしていきたいですね。

[インタビューを終えて]

若者に勝るとも劣らない日高さんの学びへのエネルギーの源を知りたいと望んだインタビューでしたが、そこにあったのは、<人生を楽しむ>という極めてシンプルな、でもとても強い思いでした。「人生の達人に生涯学習あり」という言葉は、日高さんにこそふさわしいと感じた刺激的な時間でした。(岩橋恵子)



日高雄一さん



## よくわかる中国語講座 (初心者対象) —中国語で話そう—

2017年9月26日～12月5日まで、毎週火曜日(午後7時～8時30分)にサンエールかごしまにて、「よくわかる中国語講座(初心者対象)―中国語で話そう―」(全10回)が開講されました。

初心者の方々を対象に、県内初の「中国語通訳案内士(国家資格)」の有資格者である谷口明夫先生(志学館大学名誉教授)が、中国語の発音の基礎から簡単な日常会話に至るまでわかりやすく指導しました。受講者の方々は、ユーモアあふれる授業に毎回楽しく中国語を勉強していました。

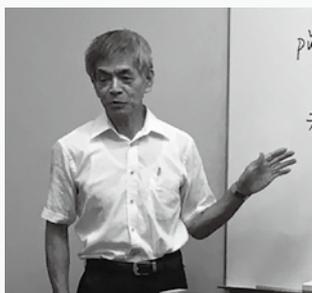
ここで受講された方々の感想の一部をご紹介します。

- ・中国語を楽しく学べました。ありがとうございました。
- ・発音を丁寧に教えてくださったので、とても勉強になりました。これからも繰り返し勉強して、日常会話ができるようになりたいです。
- ・難しいと感じましたが、頑張って通っているうちに楽しくなりました。頑張って続けたいと思います。ありがとうございました。
- ・毎回楽しく丁寧に指導を有難うございました。中検3級に合格できるまで頑張りたいと思います。

受講生の方々の中には、引き続き自主的に勉強を続けられる方々もいらっしゃるようです。さらには、中国語検定3級合格を目指している方もいらっしゃるようです。本学の語学講座が一般市民の方々の語学熱を高められたことを大変嬉しく思います。

今後も本学では、一般の方々のための語学講座を続けてまいります。どうぞご期待ください。

(野浪俊子)



## 共修講座

(平成28年度後期)

■ 2017年度・後期の「共修講座」を受講された方々の感想の一部をお届けします。

- ◇大変充実した内容で勉強になりました。
- ◇いつも新しい発見と感動を有難うございました。
- ◇知的好奇心を刺激する講義で大変楽しかったです。
- ◇不安でしたが、先生と生徒さんのおかげで、毎回楽しく受講できました。ありがとうございました。
- ◇もう何年も受講しておりますが、内容がいつも変わり、同じ事でも様々な角度から見ることを教わり感動しています。
- ◇充実した時間をありがとうございました。
- ◇若い人達と熱心指導を受けることができ、貴重な体験をさせていただきました。もっと勉強したいと思います。

多くの感想をお寄せいただきありがとうございました。今後も「共修講座」が、地域の皆様と共に学び合いながら歩み続けていくことができますように努力してまいります。

(野浪俊子)

## 志学館大学大学祭「銀杏祭」展示

第39回銀杏祭が2017年11月18日(土)、19日(日)に開催されました。

生涯学習センター展示ブースでは、センターの活動内容紹介やこれまで発行されたセンター通信の展示を行いました。



(森実紀)

## 平成30年度 志学館大学生涯学習センター ～ 開講講座のお知らせ ～

● 《2018年 ニューライフカレッジ霧島》【志学館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会 連携講座】

テーマ： **準人学** 「いま伝える地域の智慧～知る、語る、共に生きる～」

◆【前期会場】5・6・8・9月：国分公民館、7月：志学館大学【後期会場】10月～2月 鹿児島工業高等専門学校

◆【時間】9:30～11:30 ※7月7日のみ10:00～15:00

5/12 (土)	開講式 日本のふねの歴史と西郷どんの時代の船について～ 船の構造と造船法～ 岩本才次氏 (鹿児島工業高等専門学校客員教授)	10/13 (土)	昔なつかし、わらべうた～一緒に、遊びもんそや!～ 三島理恵氏 ((株)松田ピアノ友社ミュージックフレンド主催 わらべうた講師)
6/9 (土)	大地と共に生きる～土地利用と減災の知恵～ 宗健郎氏 (志学館大学人間関係学部准教授)	11/10 (土)	発掘調査からみるグローバルな世界 霧島市教育委員会 社会教育課
7/7 (土)	みんなに伝える☆お話しワールド 志学館大学学生 岩下雅子氏 (志学館大学人間関係学部特任講師) 種村エイ子氏 (鹿児島国際大学元教授)	12/8 (土)	地域が和む魔法の力 ～かごしま弁と共に～ 植村紀子氏 (児童文学作家・志学館大学非常勤講師)
8/11 (土)	霧島と明治維新 霧島市教育委員会 社会教育課	1/12 (土)	西郷どんが愛した日当山温泉郷の魅力 米田知弘氏 (日当山温泉旅館組合長)
9/8 (土)	地域の宝～薩摩狂句を伝え、楽しむ～ 牧本一丁目氏 (霧島市公民館講座講師)	2/9 (土)	いま伝えよう! 地域の智慧～共に生きるために～ コーディネーター 岩橋恵子氏 (志学館大学法学部教授) 閉講式

※前期：7月7日(土)は、10:00～15:00 志学館大学(鹿児島市)で開催いたします。

※定員70名(先着順) どなたでも受講できます。受講料：2500円 ※申込開始日：4月23日(月)

※申し込み方法：電話・メール・FAX・窓口で、氏名・性別・年齢・住所・電話番号をお知らせください。

《よくわかる韓国語講座(初心者対象) ～韓国語で話そう～》 

☆志学館大学生涯学習センターでは、市民(初心者)の皆様のための韓国語講座を開講します。

・会場：サンエールかごしま ・受講料：12000円(全10回分) ・定員20名(先着順)

日 時	内 容	講 師
5月22日(火)～7月31日(火) 毎週火曜日(10回講座) 19:00～20:30	よくわかる韓国語講座(初心者対象) ～韓国語で話そう～	入佐信宏氏 (志学館大学教授)

《よくわかる英語講座(初心者対象) ～英語で話そう～》 

☆志学館大学生涯学習センターでは、市民(初心者)の皆様のための英語講座を開講します。

・会場：志学館大学 ・受講料：12000円(全10回分) ・定員20名(先着順)

日 時	内 容	講 師
5月2日(水)～9月19日(水) 毎月第1・3水曜日(10回講座) 17:00～18:30	よくわかる英語講座(初心者対象) ～英語で話そう～	マーカス・シオボールド氏 (志学館大学人間関係学部講師)

《よくわかる中国語講座(初心者対象) ～中国語で話そう～》 

☆志学館大学生涯学習センターでは、市民(初心者)の皆様のための中国語講座を開講します。

・会場：サンエールかごしま ・受講料：12000円 ・定員20名(申込者多数の場合は抽選となります。)

日 時	内 容	講 師
10月2日(火)～12月11日(火) 毎週火曜日(10回講座) 19:00～20:30	よくわかる中国語講座(初心者対象) ～中国語で話そう～	谷口明夫氏 (志学館大学名誉教授)

## ◆《共修講座》

☆前期・後期、それぞれ本学の正規授業の一部を市民の皆さんに提供しています。

・開講式 前期：4月9日(月) 13:00～  
後期：9月21日(金) 13:00～

## ◆《学校臨床セミナー》

第18回 テーマ「さまざまな育ちの世界に寄りそう」

時間：7月27日(金) 10:30～16:30

場所：志学館大学図書館

定員：50名(先着順) 受講料：1500円(資料代含む)

申込期間 7月2日(月)～7月20日(金)

※上記開講講座の詳細については下記の志学館大学生涯学習センターにお問い合わせ下さい。

## &lt;編集後記&gt;

新年度に向け皆さんは、どのような抱負をお持ちでしょうか？  
志学館大学「生涯学習センター」では、様々な講座を準備いたしました。是非チャレンジしてみてください。講座の中で、お互いが学び合い、そして、語り合いながら、新たな生き方を模索して頂ける機会になればと思っています。

(野浪・森)

お問い合わせ・お申し込み先



志学館大学生涯学習センター

住所 〒890-8504 鹿児島市紫原1丁目59-1  
Tel.099-812-8501(代表) Fax.099-257-0308  
URL <http://www.life.shigakukan.ac.jp>  
Email [life@shigakukan.ac.jp](mailto:life@shigakukan.ac.jp)